

				決算事項別明細書				P46	
大事業		10	保健・医療・福祉		担当部署		いきいき健康課		
中事業		10	市民の健康づくりの推進		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		10	保健衛生総務費			款	04	衛生費	
事業開始年度			令和7年度			項	01	保健衛生費	
事業進捗度			－			目	01	保健衛生総務費	
当 初 予 算 額			21,294,000 円		目的	市民の健康づくりを支援するため、地域医療体制と医療機関の施設整備の充実を図る。			
予 算 現 額			52,654,000 円						
決 算 額 A			50,358,716 円						
財源内訳	国・県支出金		国 県	15,646,000 円					
	地 方 債			0 円					
	そ の 他		諸収入	38,640 円					
	一 般 財 源			34,674,076 円					
人件費コスト B		1.6人役	12,596,800 円		総事業費 A+B		62,955,516 円		
【事業名称】									
【在宅当番医制事業】				4,467,100円	0円	0円	0円	4,467,100円	
市民の休日及び夜間の診療体制を確保するため、一般社団法人安来市医師会に休日（日曜日及び祝日）の在宅当番医制事業を委託した。									
【病院群輪番制運営事業負担金】				2,485,170円	0円	0円	0円	2,485,170円	
松江圏の二次救急医療機関の運営費と設備整備費を、松江圏救急医療対策協議会を通じて負担することによって、松江圏の二次救急医療体制を整備し、市民の安心・安全の確保を図った。									
【地域医療教育推進事業】				885,035円	885,000円	0円	0円	35円	
将来の医療従事者を目指す児童・生徒の増加を目的とし、市内の小中学生を対象として医師、看護師等による講演や医療に関する図書購入等を通じ医療職を身近に感じる機会とした。									
【医師・看護師等確保対策事業】				6,999,125円	0円	0円	38,640円	6,960,485円	
医師・薬剤師及び看護職の養成及び確保に資することを目的とし、安来市出身の医学生、薬学生、看護学生等に対して、奨学金貸与と事業を実施した。令和7年度貸与者：医学生2名 薬学生1名 看護学生4名									
また、地域医療を守る交流会として安来市出身の医学生等と意見交換の場をもち、安来市の地域医療の情報提供等を行った。									
【保健衛生総務費事業】				20,409,486円	0円	0円	0円	20,409,486円	
島根県より権限移譲を受けた看護師等の免許申請等の事務を行い、住民サービスの向上を図った。また、骨髄移植の推進を図るため、骨髄移植ドナーへの支援を2名に対し行った。									
医療提供体制整備として救急医療を担う公的医療機関である安来第一病院に補助金を交付した。									
【地域医療を守る普及啓発事業】				30,800円	0円	0円	0円	30,800円	
医療の適正利用とかかりつけ医の重要性を伝えることを目的に医療ガイドを更新・配布した。									
【訪問診療・訪問看護支援事業】				1,282,000円	961,000円	0円	0円	321,000円	
訪問診療・訪問看護計画に基づく条件不利地域（移動時間がおおむね30分以上）への訪問診療・訪問看護を行う医療機関・訪問看護ステーションに対してその運営費の一部を補助し在宅療養生活の質の向上を図った。									
●実績	訪問診療	4医療機関	88件	訪問看護	2訪問看護ステーション	620件			
【医療機関等物価高騰対策緊急支援事業】				13,800,000円	13,800,000円	0円	0円	0円	
物価高騰等の影響を受けている医療機関等が安心・安全な医療、看護等を提供でき、患者が安心して身近な医療機関等で治療を受けられるようにするため医療機関等を支援した。 実績：63事業所									
※物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業									

				決算事項別明細書			P46		
大事業		10	保健・医療・福祉		担当部署		いきいき健康課		
中事業		10	市民の健康づくりの推進		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		15	健康増進事業費			款	04	衛生費	
事業開始年度		令和7年度				項	01	保健衛生費	
事業進捗度		－				目	01	保健衛生総務費	
当初予算額			48,651,000 円			目的	健康増進法に基づき、地区健康推進会議を核として総合的保健活動を推進することにより、生活習慣病予防及び介護予防に努める。		
予算現額			46,416,000 円						
決算額 A			41,014,599 円						
財源内訳	国・県支出金		県	499,416 円					
	地方債			0 円					
	その他		基金外	12,262,310 円					
	一般財源			28,252,873 円					
人件費コスト B		9.8人役	77,155,400 円		総事業費 A+B		118,169,999 円		
【事業名称】									
【健康増進事業】		9,479,574円		496,231円		0円		6,947,902円 2,035,441円	
●「健康やすぎ21」（第4次健康増進計画・第3次食育推進計画）（令和8年度～令和17年度）10カ年計画を策定した。									
●健康教育、健康相談、訪問指導等による総合的保健活動に加えて、交流センター単位にある地区健康推進会議で行う活動を支援した。									
●生活保護受給者の特定健診及び特定保健指導については、受診率向上と重症化予防のため、担当ケースワーカー等と連携しながら取り組んだ。									
●食と歯のフェスティバルを8020表彰式と同時開催し、元気でいきいきと自分らしく生きるために、食事の大切さやお口の健康等について啓発を行った。（開催日：令和7年11月22日（土） 場所：安来中央交流センター）									
●食育推進の担い手である安来市食生活改善推進協議会ほか、共催団体とともに地域における健康づくり活動を推進した。									
									
8020表彰式			啓発コーナー			講演会			
【がん対策事業】		27,293,245円		3,185円		0円		1,114,408円 26,175,652円	
●がん検診の受診率を向上させるため、地区健康推進会議と連携して地区での啓発活動を行った。									
●精密検査未受診者に受診勧奨通知を実施し、精密検査受診率向上を図った。									
●集団検診では、休日の検診や特定健診とがん検診の同日受診が可能な日程を設定、さらにインターネット予約の利用促進を行い、若年層の受診者の拡大を図った。									
●乳がん検診は、市内医療機関と連携し10月のピンクリボン月間にあわせた啓発を行った。大腸がん検診は、60～65歳の安来市国民健康保険被保険者に大腸がん検診受診勧奨ハガキを送付し、受診者の増加を図った。									
●がん治療等に伴う定期予防接種再接種費用を助成した。									
【フレイル予防事業】		4,241,780円		0円		0円		4,200,000円 41,780円	
関係部署・関係機関等と連携して3つの事業を実施した。									
●後期高齢者のフレイル状態を把握するため、25項目の基本チェックリストを郵送し、回答した方には個別結果や介護予防事業の案内を行った。これにより、市内のフレイル状態の把握や結果からの個別支援につながった。									
●時間や場所を問わず、フレイル状態の把握ができ、結果から予防に関するアドバイスや介護予防事業の案内をする機能を地域情報アプリ「LocaCo安来」に搭載し、フレイル予防の周知にあわせて啓発を行った。									
●広くフレイル予防について啓発し、予防に取り組んでもらうための動画作成を委託した。「社会参加」の視点からフレイルを予防する必要性について伝える内容とし、どじょっこTV等で放映した。									
									
						フレイル予防動画			

					決算事項別明細書			P46	
大事業		10	保健・医療・福祉			担当部署		いきいき健康課	
中事業		10	市民の健康づくりの推進			予算科目	会計	01	一般会計
小事業		20	母子保健事業費				款	04	衛生費
事業開始年度			令和7年度				項	01	保健衛生費
事業進捗度			－				目	01	保健衛生総務費
当初予算額			119,758,000 円			目的	母性と子どもの健康の保持及び増進を図るため、子どもをすこやかに出産・子育てができる環境を整備する。		
予算現額			97,347,000 円						
決算額 A			77,877,927 円						
財源内訳	国・県支出金		国	29,732,026 円					
	地方債		県	0 円					
	その他		基金外	17,589,176 円					
	一般財源			30,556,725 円					
人件費コスト B			2.7人役	21,257,100 円		総事業費 A+B		99,135,027 円	
【事業名称】									
【母子手帳交付及び妊婦・乳児一般健康診査事業】 15,103,138円 399,000円 0円 12,900,000円 1,804,138円									
妊娠を届け出た妊婦への母子健康手帳の交付と各種健診受診促進を図り、安心して安全な出産が迎えられるよう支援を行った。健診は、妊婦（14回）・乳児（1か月児）用の健診受診票を交付し、妊娠中及び出生後1か月の疾病・異常の早期発見及び経済的負担軽減を図った。									
●妊婦健診（医療機関委託）									
1回目 125人 2回目 126人 3回目 117人 4回目 128人 5回目 127人									
6回目 125人 7回目 137人 8回目 124人 9回目 136人 10回目 131人									
11回目 137人 12回目 116人 13回目 94人 14回目 55人									
●1か月児健診（医療機関委託） 133人									
【家庭訪問事業】 520,860円 326,000円 0円 0円 194,860円									
育児不安の大きい出産前後の妊産婦・乳児や養育困難家庭で養育支援の必要性がある保護者に対し、家庭訪問による子育て相談・育児指導等を行い、虐待予防及び育児不安の解消を図った。									
●妊婦訪問 延3件 ●産婦訪問 延128件 ●新生児・未熟児・乳児等訪問 延130件									
【乳幼児健診事業】 4,155,880円 0円 0円 0円 4,155,880円									
乳児前期（4～5か月児）、乳児後期（10～12か月児）、1歳6か月児、3歳児に対して健診を実施し、疾病・異常の早期発見・早期対応を行うとともに、適切な生活習慣づくり、虐待予防及び育児不安解消のための助言、情報の提供を行った。3歳児健診において視能訓練士等の派遣を受け、検査機器を用いた眼科検査を実施し、疾病の早期発見、早期治療につなげた。									
●乳児前期健診 128人 受診率 94.1% ●乳児後期健診 122人 受診率 87.1%									
●1歳6か月児健診 153人 受診率 95.0% ●3歳児健診 155人 受診率 96.3%									
【発達相談事業】 407,260円 0円 0円 0円 407,260円									
乳幼児健診等で発見された精神発達や運動発達に支援を必要とする乳幼児や、発達に不安を持つ家族及び関係機関からの相談に対して、専門スタッフによる二次健診や発達相談等の支援を実施した。									
●発達相談事業（発達クリニック） 年11回 受診者実人数 26人 延人数 38人									

【各種健康教室事業】	380,549円	0円	0円	0円	380,549円
妊娠期及び乳幼児期からのより良い生活習慣を身につけてもらうため、また、育児不安の解消や仲間づくりの場として、離乳食教室、マタニティ教室を開催した。 また、第1子の子育てをしている母親に対し、保健師、保育士による「はじめての子育て教室」を開催し、虐待予防の観点からも、子育ての仲間づくりや育児不安・ストレスの解消を図った。					
●離乳食教室（各年6回）	前期教室	延26組	後期教室	延16組	
●マタニティ教室（年4回）	妊婦	延23人	夫	延21人	
●はじめての子育て講座（1クール3回とし4クール開催）		23組			
【歯科保健事業】	445,176円	0円	0円	0円	445,176円
小児期からのむし歯予防のため、フッ化物洗口や歯科教室を実施し、関係機関と連携しながら家族・地域・幼稚園保育施設・小学校への普及啓発を図った。 むし歯や歯周病にかかりやすくなる妊婦を対象に、安心安全な妊娠出産と出産後の乳児のむし歯予防につなげるため、歯科検診（歯科検診、歯科相談）を実施した。					
●妊婦歯科検診（年4回）	受診者	92人			
【思春期保健事業】	150,000円	0円	0円	0円	150,000円
思春期の健康づくりと望まない妊娠の防止、児童虐待防止を視点に、将来のよりよい妊娠・出産・子育てのため、関係機関との協議の場をもって連携を図り、思春期の生と性を育む健康教育を進めた。 生徒対象研修、思春期保健連絡会、関係者研修会を開催した。					
【不妊治療費助成事業】	2,548,600円	430,000円	0円	0円	2,118,600円
少子化対策、子育て支援の一環として、不妊治療を受けている夫婦に対し、治療に要する費用を助成し、経済的な負担軽減を図った。 一般不妊治療費用助成として、医療保険の適用となる不妊治療及び検査、人工授精に要した費用の一部を助成し、生殖補助医療費用助成として、医療保険の適用となる生殖補助医療（体外受精・顕微授精）に要した費用の一部を助成した。					
●一般不妊治療費助成	申請延件数	20件	実人数	15人	助成額 763,700円
●生殖補助医療費助成	申請延件数	38件	実人数	20人	助成額 1,784,900円
【未熟児養育医療給付事業】	1,937,523円	532,026円	0円	172,664円	1,232,833円
身体の発達が未熟のまま生まれ、入院を必要とする乳児が入院治療を受ける場合に、その費用の一部を給付することで未熟児の健全な育成を図った。					
【風しん等ワクチン接種費用助成事業】	30,250円	0円	0円	0円	30,250円
妊娠を希望する女性及びその配偶者にワクチン接種費用の助成を行い、風しん等の発症防止と先天性風しん症候群の発生を予防することで、安心して妊娠出産できる環境づくりを図った。					
●申請延件数	8件				
【新生児聴覚検査費用助成事業】	452,000円	0円	0円	0円	452,000円
聴覚障がい早期発見・早期支援のため、新生児期の聴覚スクリーニング検査の費用を一部助成し、経済的負担の軽減を図り検査の受診促進を図った。					
●申請延件数	113件				
【母子保健推進事業】	3,568,446円	2,946,000円	0円	16,512円	605,934円
安来市こども家庭センター（ぴっこりーに）と連携し、妊娠期から出産、子育て期にわたり切れ目のない支援を行った。また、出産後の母子に対して心身のケアや育児支援を行い、産後の心身の回復や産後うつ等の予防を図り、産後も安心して子育てができるよう産婦健診、産後ケア事業（訪問型、通所型、短期入所型）を実施した。					
【産婦健診事業】	1,906,687円	1,002,000円	0円	0円	904,687円
産後2週間、産後1か月用の健診受診票を交付し、産後の健康状態の把握や産後うつ等のこころの健康チェックを行い、医療機関と連携しながら早期支援を行った。					
●産婦健診（医療機関委託）	第1回（産後2週間）	132件	第2回（産後1か月）	138件	

【妊娠・出産包括支援事業】 29,404,000円 18,997,000円 0円 0円 10,407,000円
産後1年未満の母子を対象に、母子の身体的ケア、母親の心理的ケア及び相談、授乳・育児相談を行い、産後の育児支援や、育児不安の軽減を図った。また産前・産後サポート事業及び産後ケア事業委託事業所の施設整備に対する補助を行い、妊娠期から産後までより利用しやすい環境を整えた。

- 産後ケア事業 訪問型 延16件 通所型 延197件 短期入所型 延28件
- 産前産後サポート事業 利用延人数 91人 (大人54人、子ども37人)
- 産後ケア・産前・産後サポート施設整備事業

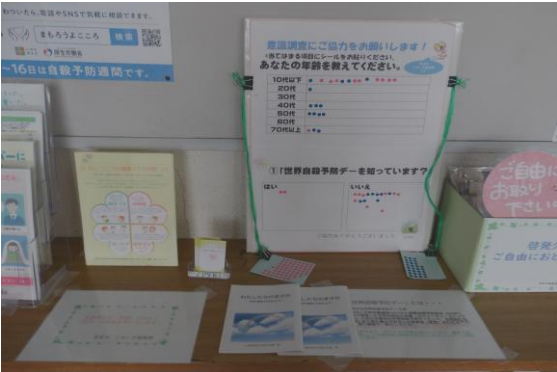
【母子健康情報アプリ事業】 1,848,000円 0円 0円 0円 1,848,000円
スマートフォン向けの母子健康情報アプリ「母子モ（安来市版）」を運用し、母子健康手帳のデジタル管理、予防接種のスケジュールリング、各種教室や子育てイベントのオンライン予約とデジタル化により母子保健事業の拡充を図った。

- 登録者数 706人

【マタニティ応援プロジェクト事業】 15,019,558円 5,100,000円 0円 4,500,000円 5,419,558円
東洋ライス株式会社及び島根県農業協同組合やすぎ地区本部と連携し、妊婦の方の健康づくりとこれから産まれる胎児の健やかな成長を支援するため、特別な精米で、ビタミンやミネラル、食物繊維など栄養価を多く含む金芽米の無償提供を行った。令和6年度からは対象を拡大し、出産した子どもが1歳になるまで提供し、産婦及び乳児の健康保持及び増進を図った。

- 申込者数 妊婦 129人(延849人) 産婦 136人(延1385人)

※物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業

決算事項別明細書					P46
大事業	10	保健・医療・福祉	担当部署		いきいき健康課
中事業	10	市民の健康づくりの推進	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	25	自死対策事業費		款	04 衛生費
事業開始年度		令和7年度		項	01 保健衛生費
事業進捗度		—		目	01 保健衛生総務費
当初予算額		246,000 円	目的	地域の自死対策における基盤整備及び地域・関係機関等と連携し対策の推進を図る。	
予算現額		246,000 円			
決算額 A		177,514 円			
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	0 円			
	一般財源	177,514 円			
人件費コスト B		0.4人役	3,149,200 円	総事業費 A+B	3,326,714 円
【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源 【自死対策事業】 177,514円 0円 0円 0円 177,514円 自死対策会議及び自死対策庁内連絡会議の構成機関・団体、庁内各課などと連携し、第2次安来市自死対策計画（令和6年度～令和10年度）に基づき対策を推進した。 ●心いきいきキャンペーンでは、世界自死予防デー（9月10日）、自死予防週間（9月10日～16日）にあわせて、安来庁舎の関係課窓口へ啓発スタンドの設置や安来市民体育館や安来市立図書館等に啓発コーナーを設置して自死予防の啓発を行った。また、3月の自死対策強化月間では、講演会や相談窓口等を周知した。 ●こころの健康づくり講演会を令和8年3月4日に安来中央交流センターにて「大人の発達障がいについて」をテーマに開催し、約100名の参加があった。また講演会前に安来市ゲートキーパー養成講座を実施し21名（定員20名）の参加があり、身近な支援者を増やすよう取り組んだ。 ●ゲートキーパー養成講座を市民向けに2か所で実施した。 ●若い世代から高齢者まで幅広い世代に相談窓口等の情報を届けるため市報、行政告知端末、チラシ、SNS等さまざまな媒体を活用し、積極的に啓発した。					
					
					
心いきいきキャンペーン （安来市民体育館）					
こころの健康づくり講演会					

				決算事項別明細書			P46	
大事業		10	保健・医療・福祉		担当部署		いきいき健康課	
中事業		10	市民の健康づくりの推進		予算科目	会計	01	一般会計
小事業		27	妊婦のための支援給付事業費			款	04	衛生費
事業開始年度			令和7年度			項	01	保健衛生費
事業進捗度			－			目	01	保健衛生総務費
当初予算額			20,000,000 円		目的	妊娠期から出産・子育てまで切れ目のない包括的な支援とあわせて、経済的な支援を図るため、全ての妊婦に対し、妊娠届出時及び出産後にそれぞれ給付金の給付を実施し、安心して出産・子育てができる環境を整える。		
予算現額			17,974,000 円					
決算額 A			14,234,000 円					
財源内訳	国・県支出金		国	11,886,000 円				
	地方債		県	0 円				
	その他			0 円				
	一般財源			2,348,000 円				
人件費コスト B		0.2人役	1,574,600 円		総事業費 A+B		15,808,600 円	
【事業名称】								
【妊婦のための支援給付事業】			事業費		国・県支出金	地方債	その他	一般財源
			14,234,000円		11,886,000円	0円	0円	2,348,000円
全ての妊婦が安心して出産・子育てができるように、妊娠届出や出産後に妊婦のための支援給付の実施にあわせ、伴走型の相談支援を行った。								
●支給対象者 安来市に住所があり、妊婦給付認定を受けた方（産科医療機関等を受診し、医師が胎児心拍を確認した方）								
●支給額 ・1回目 妊婦1人当たり50千円 ・2回目 妊娠している子どもの人数×50千円								
●支給方法 口座振込による現金給付								
●支給期間 令和7年4月から令和8年3月末								
●支給者数 ・1回目……134人 ・2回目……141人								
●事業費内訳 ・委託料（伴走型相談支援実施委託） 210,000円 ・扶助費（給付金50千円×275人） 13,750,000円 ・扶助費（出産・子育て応援給付金経過措置） 250,000円 ・令和6年度分返還金 24,000円								

					決算事項別明細書				P47					
大事業		10	保健・医療・福祉			担当部署		いきいき健康課						
中事業		10	市民の健康づくりの推進			予算科目	会計	01	一般会計					
小事業		30	感染症予防事業費				款	04	衛生費					
事業開始年度			令和7年度				項	01	保健衛生費					
事業進捗度			－				目	02	予防費					
当 初 予 算 額			57,186,000 円			目的	高齢者のインフルエンザ、肺炎の発症予防、重症化予防、蔓延予防及び新型コロナウイルス感染症対策の推進を図る。							
予 算 現 額			88,428,000 円											
決 算 額 A			62,633,277 円											
財源内訳	国・県支出金		国	324,020 円										
	地 方 債			0 円										
	そ の 他		基金	31,500,000 円										
	一 般 財 源			30,809,257 円										
人件費コスト B		0.9人役	7,085,700 円		総事業費 A+B		69,718,977 円							
【事業名称】										事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【高齢者季節性インフルエンザ予防接種事業】										23,088,470円	0円	0円	21,200,000円	1,888,470円
主として65歳以上の高齢者がインフルエンザに罹患し重症化することを防ぐため、感染症予防法及び予防接種法等に基づきインフルエンザ予防接種を実施した。														
【高齢者肺炎球菌感染症予防接種事業】										975,934円	0円	0円	0円	975,934円
主として接種日に65歳の者を対象に肺炎に罹患し重症化することを防ぐため、感染症予防法及び予防接種法等に基づき高齢者肺炎球菌感染症予防接種を実施した。（任意接種で過去に接種した者は除く。）														
【带状疱疹予防接種事業】										15,419,911円	0円	0円	10,300,000円	5,119,911円
年度年齢で、65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる者及び60歳以上65歳未満の者でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がい有する者を対象に、带状疱疹の発症を予防するため予防接種法に基づき带状疱疹予防接種を実施した。（基本的に任意接種で過去に接種した者は除く。）														
【新型コロナウイルスワクチン接種事業】										21,673,486円	236,020円	0円	0円	21,437,466円
主として65歳以上の高齢者が新型コロナウイルス感染症に罹患し重症化することを防ぐため、感染症予防法及び予防接種法等に基づき新型コロナウイルスワクチン予防接種を実施した。														
【新型インフルエンザ等対策事業】										49,500円	0円	0円	0円	49,500円
新型インフルエンザ等対策行動計画の改定作業を行い、感染予防の目的として防護キット等の感染症対策物資の備蓄を行った。														
【風しん第5期予防接種事業】										1,425,976円	88,000円	0円	0円	1,337,976円
風しんの感染拡大防止のため、昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性で令和6年度末までに風しん抗体検査を受けた結果、抗体価の低い者を対象に予防接種法に基づき風しん予防接種を実施した。														

					決算事項別明細書			P47		
大事業		10	保健・医療・福祉		担当部署		環境政策課			
中事業		10	市民の健康づくりの推進		予算科目	会計	01	一般会計		
小事業		35	狂犬病予防費			款	04	衛生費		
事業開始年度			令和7年度			項	01	保健衛生費		
事業進捗度			－			目	02	予防費		
当 初 予 算 額			878,000 円		目的	狂犬病の発生を未然に防止するとともに、動物愛護の啓発・飼育マナーの向上により快適な生活環境の充実を図る。				
予 算 現 額			878,000 円							
決 算 額 A			647,911 円							
財源内訳	国・県支出金			0 円						
	地 方 債			0 円						
	そ の 他		手数料	647,911 円						
	一 般 財 源			0 円						
人件費コスト B		0.6人役	4,723,800 円		総事業費 A+B		5,371,711 円			
【事業名称】										
【狂犬病予防事業】			647,911円		0円		0円		647,911円 0円	
●窓口及び市内動物病院で犬の登録鑑札、注射済票を交付するとともに、市内54箇所で集合注射を実施した。										
○集合注射実施期間 令和7年5月13日～令和7年6月15日										
○犬の登録及び狂犬病注射済頭数										
・登録頭数 1,665頭（令和8年3月31日現在）										
・注射済頭数 1,263頭（令和7年度接種分）										
・注射済接種率 75.86%										
●適正な飼育の向上を目的に市ホームページや市報などを用いて啓発を行った。										
●猫避け機（超音波発生装置）の貸出しを行い、野良猫等による被害対策を講じた。										

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【定期予防接種（A類疾病）】	55,423,345円	0円	0円	45,200,000円	10,223,345円
乳幼児、児童が感染する恐れのある疾病の発生、蔓延の予防のため、予防接種法に基づき医療機関での個別接種を実施した。					
●日本脳炎予防接種：平成17年の積極的接種勧奨の差し控えがあったために接種できなかった児童に対し、特例措置により対応した。					
●HPVワクチン接種：平成25年6月より差し控えていた積極的接種勧奨を令和4年度より再開した。また、同ワクチンの接種機会を逃した者を対象にキャッチアップ接種を行った。					
●ハイリスク児の個別接種：松江赤十字病院、島根大学医学部附属病院、鳥取大学医学部附属病院、山陰労災病院等に委託し、年間を通じて体調の良い時期に接種できるように配慮した。					
長期里帰りによる市外医療機関への委託も実施し、早期からの予防接種実施に配慮した。					

種別	対象	実施時期	接種件数
ロタウイルス	1価ワクチン：6週0日～24週0日 5価ワクチン：6週0日～32週0日	通年	293件
ヒブ	2か月～5歳未満	通年	14件
小児用肺炎球菌	2か月～5歳未満	通年	533件
B型肝炎	2か月～1歳未満	通年	391件
BCG	5か月～1歳未満	通年	120件
日本脳炎	1期：6か月～7歳6か月未満	通年	524件(特例措置接種者含む)
	2期：9歳～13歳未満	通年	250件(特例措置接種者含む)
四種混合	2か月～7歳6か月未満	通年	29件
五種混合	2か月～7歳6か月未満	通年	525件
不活化ポリオ	3か月～7歳6か月未満	通年	0件
麻しん風しん混合 麻しん、風しん	1期：1歳～2歳未満	通年	135件(特例措置接種者含む)
	2期：幼稚園、保育所等の年長児	通年	196件(特例措置接種者含む)
水痘	1歳～3歳未満	通年	267件
二種混合	11歳～13歳未満	通年	232件
HPV	①小学6年生～高校1年生の年齢に該当する女子 ②平成9年4月2日～平成21年4月1日生まれの女子で令和4年4月1日～令和7年3月31日までに1回以上接種した者(キャッチアップ接種)	通年	330件

子育て支援充実の一環として、任意接種の中で、特に集団感染の予防に効果的といわれている「おたふくかぜ」の予防接種を対象に、接種費用を公費負担とし、疾病予防及び経済的負担の軽減を図った。

- 実施時期：通年 ●助成件数：307件

					決算事項別明細書			P47						
大事業		50	都市基盤・生活		担当部署		下水道課							
中事業		40	上下水道の整備		予算科目	会計	01	一般会計						
小事業		10	浄化槽普及促進事業費			款	04	衛生費						
事業開始年度			令和7年度			項	01	保健衛生費						
事業進捗度			－			目	03	環境衛生費						
当 初 予 算 額			506,000 円		目的	集合処理区域外における公共用水域の水質汚濁の防止及び水洗化向上を促す。								
予 算 現 額			1,322,000 円											
決 算 額 A			422,000 円											
財源内訳	国・県支出金		国1/3	136,000 円										
	地 方 債			0 円										
	そ の 他			0 円										
	一 般 財 源			286,000 円										
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B		422,000 円							
【事業名称】										事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【島根県浄化槽普及センター費】										14,000円	0円	0円	0円	14,000円
● 島根県浄化槽普及管理センター負担金														
【浄化槽設置補助事業費】										408,000円	136,000円	0円	0円	272,000円
● 浄化槽設置事業費補助金														
生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し生活環境の保全を図るため、集合処理区域外の地域において浄化槽を設置しようとする者に浄化槽の設置に要する経費を補助するもの。														
・ 補助率：10/10														
・ 補助上限：5人槽360千円（豪雪地域408千円）、7人槽462千円（豪雪地域492千円）外														
・ 令和7年度申請件数：1件（5人槽、豪雪地域、広瀬町山佐地区）														

					決算事項別明細書			P47	
大 事 業		50	都市基盤・生活			担当部署		下水道課	
中 事 業		40	上下水道の整備			予算科目	会計	01	一般会計
小 事 業		20	企業会計負担金費（下水道事業・個別排水処理）				款	04	衛生費
事業開始年度			令和7年度				項	01	保健衛生費
事業進捗度			－				目	03	環境衛生費
当 初 予 算 額			12,120,000 円			目的	安来市下水道事業（個別排水処理）に対して経費の一部を負担することにより経営の安定を図る。		
予 算 現 額			12,120,000 円						
決 算 額 A			12,120,000 円						
財源内訳	国・県支出金			0 円					
	地 方 債			0 円					
	そ の 他			0 円					
	一 般 財 源			12,120,000 円					
人件費コスト B		0.0人役	0 円			総事業費 A+B		12,120,000 円	
【事業名称】									
【企業会計負担金費（下水道事業・個別排水処理）】			12,120,000円	0円	0円	0円	12,120,000円		

					決算事項別明細書			P47	
大事業		50	都市基盤・生活		担当部署		下水道課		
中事業		40	上下水道の整備		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		25	企業会計負担金費（下水道事業・公共浄化槽等整備推進）			款	04	衛生費	
						項	01	保健衛生費	
						目	03	環境衛生費	
事業開始年度			令和7年度		目的	安来市下水道事業（公共浄化槽等整備推進）に対して経費の一部を負担することにより経営の安定を図る。			
事業進捗度			－						
当初予算額			85,368,000 円						
予算現額			85,740,000 円						
決算額 A			85,740,000 円						
財源内訳	国・県支出金			0 円					
	地方債			0 円					
	その他			0 円					
	一般財源			85,740,000 円					
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B		85,740,000 円		
【事業名称】					事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【企業会計負担金費（下水道事業・公共浄化槽等整備推進）】					85,740,000円	0円	0円	0円	85,740,000円

					決算事項別明細書			P47	
大 事 業		50	都市基盤・生活			担当部署		水道管理課	
中 事 業		40	上下水道の整備			予 算 科 目	会 計	01	一般会計
小 事 業		30	企業会計負担金費（水道事業）				款	04	衛生費
事業開始年度			令和7年度				項	01	保健衛生費
事業進捗度			－				目	03	環境衛生費
当 初 予 算 額			183,528,000 円			目 的	安来市水道事業に対して経費の一部を負担することにより経営の安定を図る。		
予 算 現 額			189,372,000 円						
決 算 額 A			188,265,112 円						
財 源 内 訳	国・県支出金			0 円					
	地 方 債			0 円					
	そ の 他			0 円					
	一 般 財 源			188,265,112 円					
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B		188,265,112 円		
【事業名称】									
【企業会計負担金費（水道事業）】			188,265,112円	0円	0円	0円	188,265,112円		
安来市水道事業会計繰出金									

					決算事項別明細書			P47		
大事業		50	都市基盤・生活			担当部署		環境政策課		
中事業		40	上下水道の整備			予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		32	飲料水安定確保対策事業費				款	04	衛生費	
事業開始年度			令和7年度				項	01	保健衛生費	
事業進捗度			－				目	03	環境衛生費	
当 初 予 算 額			2,000,000 円			目的	水道施設の整備が困難な地域等において、飲料水その他の生活に必要な水の確保を図る。			
予 算 現 額			2,000,000 円							
決 算 額 A			0 円							
財源内訳	国・県支出金			0 円						
	地 方 債			0 円						
	そ の 他			0 円						
	一 般 財 源			0 円						
人件費コスト B			0.1人役	787,300 円		総事業費 A+B		787,300 円		
【事業名称】										
【飲料水安定確保対策事業費】			0円		0円		0円		0円	
令和7年度は、飲用井戸等設置費に関する補助申請なし。										
補助金の額：下表のとおり										
補助対象経費					補助金の額（千円未満切捨て）					
1,500千円以下の場合					3分の2の額					
1,500千円超～2,500千円以下の場合					当該補助対象経費より500千円を控除した額					
2,500千円超の場合					2,000千円					

					決算事項別明細書			P47						
大 事 業		60	自然・環境保全		担当部署			環境政策課						
中 事 業		10	自然環境の保全		予算科目	会計	01	一般会計						
小 事 業		15	環境保全費			款	04	衛生費						
事業開始年度			令和7年度			項	01	保健衛生費						
事業進捗度			－			目	03	環境衛生費						
当 初 予 算 額			11,009,000 円		目的	地球温暖化対策、自然環境の保全、公害対策の実施により周辺環境の保全を図る。								
予 算 現 額			10,409,000 円											
決 算 額 A			10,190,003 円											
財源内訳	国・県支出金		0 円											
	地 方 債		0 円											
	そ の 他	基金	2,200,000 円											
	一 般 財 源		7,990,003 円											
人件費コスト B		1.3人役	10,234,900 円		総事業費 A+B		20,424,903 円							
【事業名称】										事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【地球温暖化対策事業】										2,512,946円	0円	0円	2,200,000円	312,946円
安来市地球温暖化対策地域協議会との協働による温暖化対策の啓発や環境イラストコンテスト、教育・保育施設での木育支援活動、やすぎ環境フェア等の実施により地球温暖化対策を推進した。														
●環境イラストコンテスト 応募総数：941点 対象：市内小学4～6年生、中学1～3年生														
●教育・保育施設での木育支援活動 対象：市内保育所（園）、認定こども園、幼稚園 実施施設：13施設														
●やすぎ環境フェア2025 開催日：令和7年11月2日 開催場所：伯太中央交流センター（わかさ会館）														
														
環境フェア内 第2回どじょうすくいロボコン														
【水環境保全事業】										1,782,000円	0円	0円	0円	1,782,000円
●市内10河川15地点において、河川水質調査を実施した。														
【公害防止対策事業】										1,397,000円	0円	0円	0円	1,397,000円
●騒音規制法の規定に基づき、設定地点における自動車騒音測定を実施した。 測定地点 2箇所 ①（国道9号：黒井田町） ②（伯太日南線：吉岡町）														
区間 (km)	対象 戸数	昼夜基準値以下戸数	昼のみ基準値以下戸数	昼夜基準値超過戸数	等価レベル (昼間)	等価レベル (夜間)	調査日							
①6.7	209	154	26	29	74db	71db	12月22日							
②3.7	52	52	0	0	61db	50db	12月22日							
【その他】										4,498,057円	0円	0円	0円	4,498,057円
●民地における小動物死骸回収を行い、公衆衛生の向上を図った。回収実績：23件													253,000円	
●老朽管更新事業負担金（水道会計への負担金）														
①平成7年度老朽管更新事業の上積事業費1/4にかかる出資額													1,474,574円	
②平成8年度未普及地域配水管整備事業起債額にかかる償還元利合計額													2,568,083円	
●その他													202,400円	

					決算事項別明細書			P47	
大事業		60	自然・環境保全		担当部署		環境政策課		
中事業		20	再生可能エネルギーの利用		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		10	再生可能エネルギー推進費			款	04	衛生費	
事業開始年度			令和7年度			項	01	保健衛生費	
事業進捗度			－			目	03	環境衛生費	
当初予算額			14,350,000 円		目的	再生可能エネルギーの普及促進を図り、温室効果ガス削減による地球温暖化防止を図る。			
予算現額			14,437,000 円						
決算額 A			14,434,900 円						
財源内訳	国・県支出金	国県	12,830,900 円						
	地方債		0 円						
	その他		0 円						
	一般財源		1,604,000 円						
人件費コスト B		1.3人役	10,234,900 円		総事業費 A+B		24,669,800 円		
【事業名称】									
【再生可能エネルギー普及事業】			14,434,900 円	12,830,900 円	0 円	0 円	1,604,000 円		
●再生可能エネルギー普及事業委託料（国10/10）					9,997,900 円				
再生可能エネルギーへの理解、普及促進のためのイベント等を行った。									
・再エネ地産地消による域内経済循環の官民連携勉強会の立ち上げ									
・ペロブスカイト太陽電池アイデアソンの開催									
・地域マイクロ水力発電ワークショップの開催									
									
地域マイクロ水力発電ワークショップの様子					ペロブスカイト太陽電池アイデアソンの様子				
●再生可能エネルギー設備等設置費補助金									
・太陽光発電設備									
補助率：3万円/kW（上限12万円）					交付件数：25件		補助金総額：2,937,000 円		
・蓄電池設備									
補助率：5万円（設置費用を上限とする）					交付件数：28件		補助金総額：1,350,000 円		
・太陽熱利用設備									
補助率：3分の1（上限20万円）					交付件数：0件		補助金総額：0 円		
・木質バイオマス熱利用設備									
補助率：3分の1（上限15万円）					交付件数：1件		補助金総額：150,000 円		

				決算事項別明細書			P47	
大事業		10	保健・医療・福祉		担当部署		いきいき健康課	
中事業		10	市民の健康づくりの推進		予算科目	会計	01	一般会計
小事業		45	診療所費			款	04	衛生費
事業開始年度			令和7年度			項	01	保健衛生費
事業進捗度			－			目	05	病院・診療所費
当 初 予 算 額			647,000 円		目的	地域の住民が必要とする医療サービスを提供するため、診療所の施設・設備を適切に管理する。		
予 算 現 額			647,000 円					
決 算 額 A			221,332 円					
財源内訳	国・県支出金		0 円					
	地 方 債		0 円					
	そ の 他		0 円					
	一 般 財 源		221,332 円					
人件費コスト B		0.3人役	2,361,900 円		総事業費 A+B		2,583,232 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【診療所管理事業】	221,332円	0円	0円	0円	221,332円

井尻診療所及び赤屋診療所について診療機能を維持し、安心・安全に医療を提供するため消防点検等維持・管理を行った。あわせて、旧安田診療所について周辺の安全確保のため修繕等の施設管理を行った。



旧安田診療所屋根修繕



井尻診療所



赤屋診療所

					決算事項別明細書			P47	
大事業		10	保健・医療・福祉		担当部署			地域医療推進室	
中事業		10	市民の健康づくりの推進		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		50	企業会計負担金費（病院事業）			款	04	衛生費	
事業開始年度			令和7年度			項	01	保健衛生費	
事業進捗度			－			目	05	病院・診療所費	
当 初 予 算 額			650,000,000 円		目的	安来市立病院に対して経費の一部を負担することにより経営の安定を図る。			
予 算 現 額			765,676,000 円						
決 算 額 A			765,676,000 円						
財源内訳	国・県支出金		0 円						
	地 方 債		0 円						
	そ の 他		0 円						
	一 般 財 源		765,676,000 円						
人件費コスト B			1.0人役	7,873,000 円	総事業費 A+B			773,549,000 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【安来市立病院事業会計負担金】	765,676,000円	0円	0円	0円	765,676,000円

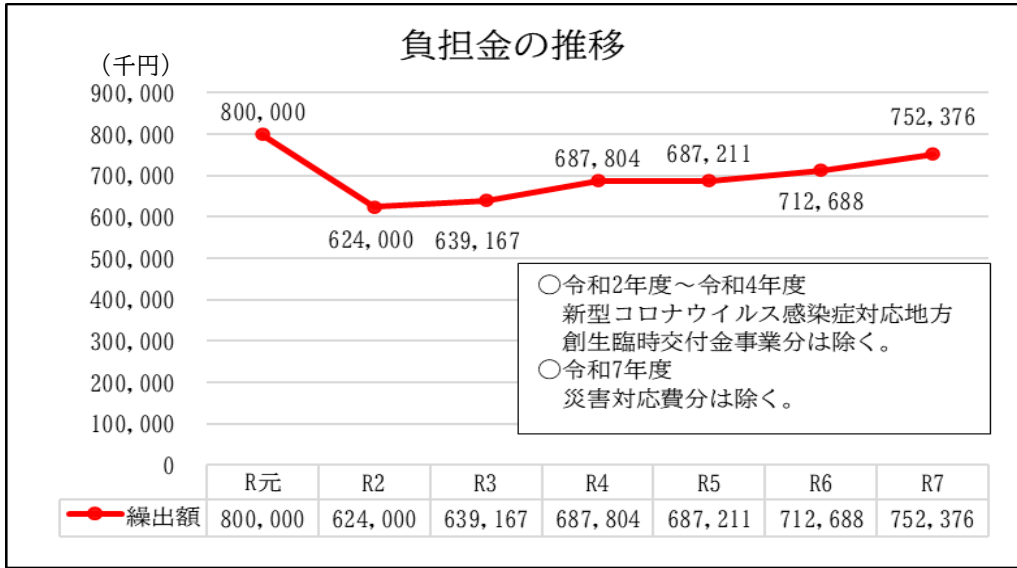
国が示す繰出基準に基づき、安来市立病院が行う不採算医療等の政策的医療を実施するために必要な経費に対して負担金を支出した。

●負担金の内訳 繰出基準に基づく負担金 765,676,000 円

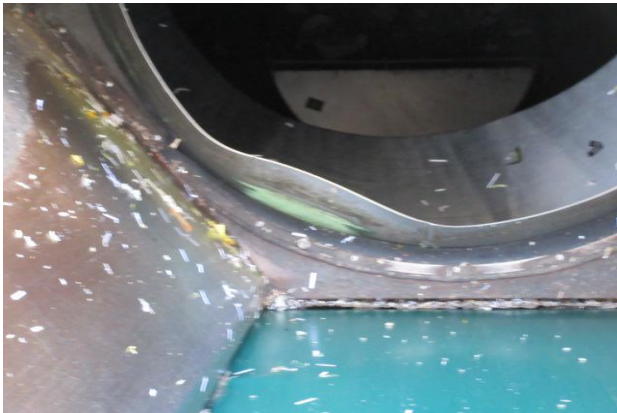
負担金の推移 単位(千円)

年度	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
繰出基準分	490,192	624,000	639,167	687,804	687,211	712,688	752,376
経営改善特別支援 (基準外分)	309,808	－	－	－	－	－	－
コロナ交付金※分	－	165,500	45,000	22,000	－	－	－
災害対応費	－	－	－	－	－	－	13,300
合計	800,000	789,500	684,167	709,804	687,211	712,688	765,676

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業



安来市立病院経営強化プラン評価委員会の様子

					決算事項別明細書			P48	
大事業		60	自然・環境保全		担当部署		環境政策課		
中事業		30	循環型社会の形成		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		91	災害対策費			款	04	衛生費	
事業開始年度			令和7年度			項	01	保健衛生費	
事業進捗度			－			目	06	災害対策費	
当 初 予 算 額			0 円		目的	令和8年1月6日発生の島根県東部を震源とする震度5強の地震に係る災害による廃棄物の処理および施設の修繕等を図る。			
予 算 現 額			1,500,000 円						
決 算 額 A			88,000 円						
財源内訳	国・県支出金		0 円						
	地 方 債		0 円						
	そ の 他		0 円						
	一 般 財 源		88,000 円						
人件費コスト B		0.1人役	787,300 円		総事業費 A+B		875,300 円		
【事業名称】									
事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源									
【災害復旧事業】 88,000円 0円 0円 0円 88,000円									
地震災害により、清瀬クリーンセンターのドラムが変形したために修繕を行った。									
									
清瀬クリーンセンタードラム修繕									

					決算事項別明細書				P48					
大事業		60	自然・環境保全			担当部署		環境政策課						
中事業		30	循環型社会の形成			予算科目	会計	01	一般会計					
小事業		10	ごみ収集事業費				款	04	衛生費					
事業開始年度			令和7年度				項	02	清掃費					
事業進捗度			－				目	02	塵芥処理費					
当 初 予 算 額			203,447,000 円			目的	一般廃棄物の円滑な収集運搬、地域の清掃活動の支援を図る。							
予 算 現 額			193,659,000 円											
決 算 額 A			191,853,284 円											
財源内訳	国・県支出金		0 円											
	地 方 債		0 円											
	そ の 他	手数料外	50,311,965 円											
	一 般 財 源		141,541,319 円											
人件費コスト B		1.0人役	7,873,000 円		総事業費 A+B		199,726,284 円							
【事業名称】										事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【一般廃棄物収集運搬事業】										191,292,284円	0円	0円	50,311,965円	140,980,319円
●市内で排出された一般廃棄物の円滑な収集及び運搬を行った。														
●不法投棄パトロールを実施し、不法投棄の防止活動を行った。														
●クリーンアップやすぎデーを実施し、自治会及び団体による環境保全活動を行った。														
実施団体 139 団体 参加者数 3,254 人 回収量 2,050 kg														
														
クリーンアップやすぎデー														
【廃棄物集積場設置整備費補助事業】										561,000円	0円	0円	0円	561,000円
●ごみの再資源化の促進と収集業務の円滑化、環境美化を目的に自治会等が集積場を設置整備する経費の一部の補助を行った。														
補助金交付件数		10 件	交付総額		561,000 円									
補助金の内容		・ 補助率	補助対象経費の1/2											
		・ 補助限度額	5世帯以上9世帯以下		50,000円									
			10世帯以上14世帯以下		100,000円									
			15世帯以上		150,000円									
														
														
集積場補助事業を活用した自治会等の集積場														

					決算事項別明細書			P48		
大 事 業		60	自然・環境保全		担当部署		環境政策課			
中 事 業		30	循環型社会の形成		予 算 科 目	会 計	01	一般会計		
小 事 業		15	可燃ごみ処理施設運営費			款	04	衛生費		
事業開始年度			令和7年度			項	02	清掃費		
事業進捗度			－			目	02	塵芥処理費		
当 初 予 算 額			313,421,000 円		目 的	可燃ごみ積替え施設を管理運営し、可燃ごみの適正処理を図る。				
予 算 現 額			295,421,000 円							
決 算 額 A			271,239,038 円							
財 源 内 訳	国・県支出金		0 円							
	地 方 債		0 円							
	そ の 他	手数料	27,992,640 円							
	一 般 財 源		243,246,398 円							
人件費コスト B		0.6人役	4,723,800 円		総事業費 A+B		275,962,838 円			
【事業名称】										
【可燃ごみ処理施設運営事業】			271,239,038円		0円		0円		27,992,640円	243,246,398円
清瀬クリーンセンター積替え施設の管理運営、可燃ごみの焼却処理委託業務等を行った。										
●施設管理運営費			4,091,432円							
・光熱水費、修繕料、手数料、保守管理委託料外										
●可燃ごみ焼却処理等委託料			267,147,606円							
・可燃ごみ焼却処理業務 可燃ごみ処理量 7,000 t (R7年度実績)										
・積替え運搬業務										
・可燃ごみ汚水積込運搬業務										
										
清瀬クリーンセンター										

- | | |
|-------------------------------|------------|
| ・需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料） | 4,942,535円 |
| ・役務費（通信運搬費、手数料） | 656,651円 |
| ・委託料（電気保安業務、浄化槽清掃業務） | 478,720円 |
| ・使用料及び賃借料（敷地借上料） | 800,000円 |

					決算事項別明細書			P48		
大事業		60	自然・環境保全		担当部署			環境政策課		
中事業		30	循環型社会の形成		予算科目	会計	01	一般会計		
小事業		25	最終処分場運営費			款	04	衛生費		
事業開始年度			令和7年度			項	02	清掃費		
事業進捗度			－			目	02	塵芥処理費		
当 初 予 算 額			13,517,000 円		目的	最終処分場を管理運営し、浸出水の適正処理を図る。				
予 算 現 額			12,917,000 円							
決 算 額 A			12,058,292 円							
財源内訳	国・県支出金		0 円							
	地 方 債		0 円							
	そ の 他		0 円							
	一 般 財 源		12,058,292 円							
人件費コスト B		0.5人役	3,936,500 円		総事業費 A+B			15,994,792 円		
【事業名称】										
【最終処分場運営事業】			12,058,292円		0円		0円		0円 12,058,292円	
伯太一般廃棄物最終処分場、クリーンセンター穂日島の埋立処分場の管理運営、浸出水の適正処理を行った。										
伯太一般廃棄物最終処分場埋立処分量			今年度埋立量		193.1㎡ 重量		257.6 t 残余容量		4354.6㎡	
・ 需用費（消耗品費、光熱水費、修繕料）							2,849,599円			
・ 役務費（通信運搬費、手数料）							4,882,379円			
・ 委託料（除草業務、電気保安業務、浄化槽清掃業務）							2,964,720円			
・ その他（敷地借上料、中海干拓地管理賦課金など）							1,361,594円			
										
クリーンセンター穂日島										

					決算事項別明細書			P48		
大事業		60	自然・環境保全			担当部署		環境政策課		
中事業		30	循環型社会の形成			予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		30	ごみ減量化・資源化推進費				款	04	衛生費	
事業開始年度			令和7年度				項	02	清掃費	
事業進捗度			－				目	02	塵芥処理費	
当 初 予 算 額			72,324,000 円			目的	ごみの減量化、資源化を図る。			
予 算 現 額			54,407,000 円							
決 算 額 A			49,643,749 円							
財源内訳	国・県支出金			0 円						
	地 方 債			0 円						
	そ の 他		諸収入外	29,548,904 円						
	一 般 財 源			20,094,845 円						
人件費コスト B			1.0人役	7,873,000 円		総事業費 A+B		57,516,749 円		
【事業名称】										
【資源ごみ再生処理事業】			49,643,749円		0円		0円		29,548,904円	20,094,845円
●リサイクルの推進を図るため、古紙類、鉄類、缶類等の廃棄物の再資源化処理を行った。										
資源化物売却収入										
売却金額			14,414,352円							
資源ごみ再生処理・運搬委託料										
・再生処理委託料			20,813,496円							
・運搬業務委託料			2,964,346円							
●ごみ収集指定袋を作製し、販売店を通じて販売を行った。										
・安来市ごみ収集指定袋作成費			17,204,000円							
・ごみ収集指定袋管理業務委託料			1,820,808円							
・ごみ収集指定袋販売手数料ほか			5,883,771円							
・その他（旅費、消耗品費等）			957,328円							

					決算事項別明細書			P48	
大事業		60	自然・環境保全		担当部署		環境政策課		
中事業		30	循環型社会の形成		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		35	廃棄物処理施設整備事業費			款	04	衛生費	
事業開始年度		令和7年度		項		02	清掃費		
事業進捗度		－		目		02	塵芥処理費		
当 初 予 算 額			35,066,000 円		目的	各廃棄物処理施設の施設整備を実施することで、経済的かつ効率的な施設運営及び廃棄物の適正処理を図る。			
予 算 現 額			35,066,000 円						
決 算 額 A			31,687,700 円						
財源内訳	国・県支出金			0 円					
	地 方 債	公共施設	24,900,000 円						
	そ の 他		0 円						
	一 般 財 源		6,787,700 円						
人件費コスト B		0.6人役	4,723,800 円		総事業費 A+B		36,411,500 円		
【事業名称】					事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【廃棄物処理施設整備事業】					31,687,700円	0円	24,900,000円	0円	6,787,700円
各廃棄物処理施設の設備改修を計画的に実施することにより、安定した廃棄物の適正処理を行った。									
● 畑不燃物処分場敷地造成工事（広瀬一般廃棄物最終処分場）					27,687,000円				
最終処分場の廃止に伴い、浸出水処理施設の解体及び排水路配管を行い、自然流下による排水を行えるよう施工した。									
									
浸出水処理施設解体					排水路配置				
● 高尾クリーンセンター資源化物保管場所整備工事 ほか					4,000,700円				
									
高尾クリーンセンター資源化物保管場所整備工事									

					決算事項別明細書			P48			
大事業		50	都市基盤・生活		担当部署			下水道課			
中事業		40	上下水道の整備		予算科目	会計	01	一般会計			
小事業		35	コミュニティ・プラント運営費			款	04	衛生費			
事業開始年度			令和7年度			項	02	清掃費			
事業進捗度			－			目	03	し尿処理費			
当 初 予 算 額			2,777,000 円		目的	汚水処理施設（コミュニティ・プラント）の定期的な維持管理により下水道事業の経営安定に資する。					
予 算 現 額			2,777,000 円								
決 算 額 A			2,271,351 円								
財源内訳	国・県支出金			0 円							
	地 方 債			0 円							
	そ の 他		使用料	1,071,059 円							
	一 般 財 源			1,200,292 円							
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B			2,271,351 円			
【事業名称】											
【コミュニティ・プラント運営費】		2,271,351円		0円		0円		1,071,059円		1,200,292円	
福頼団地のコミュニティ・プラント施設の定期的な維持管理費											
(単位：戸、%)											
処理施設名		供用開始戸数		接続戸数		接続率					
福頼団地コミプラ		27		27		100.0					

				決算事項別明細書			P48
大事業		50	都市基盤・生活		担当部署		環境政策課
中事業		40	上下水道の整備		予算科目	会計	01 一般会計
小事業		40	し尿処理施設運営費			款	04 衛生費
事業開始年度		令和7年度		項		02 清掃費	
事業進捗度		－		目		03 し尿処理費	
当初予算額			124,513,000 円		目的	し尿処理施設の適正管理を図る。	
予算現額			128,144,000 円				
決算額 A			127,840,055 円				
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債		0 円				
	その他		0 円				
	一般財源		127,840,055 円				
人件費コスト B		0.3人役	2,361,900 円		総事業費 A+B		130,201,955 円
【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源							
【し尿処理施設運営事業】			127,840,055円	0円	0円	0円	127,840,055円
対仙浄園汚泥再生処理センターの施設運営を5年間(令和3年～令和7年)の包括的運営管理委託とし、長期的な経費の節減を図るとともに、維持管理の効率化及び安定した適性処理を図った。							
搬入量 (kℓ)		し尿		浄化槽汚泥	農集汚泥		
		2,381		6,852	43		
搬出量 (t)		脱水汚泥		し渣	沈砂		
		147		40	3		
・し尿処理施設包括的運営管理業務委託料				112,640,000円			
・汚泥等処理及び運搬委託料				10,851,665円			
・水質検査手数料				682,000円			
・修繕料				346,500円			
・精密機能検査業務委託料				3,036,000円			
・その他 (各種研修会負担金、普通旅費)				283,890円			
							
対仙浄園汚泥再生処理センター							